



日本一細長い半島、愛媛県の佐田岬半島。半島部分が西宇和郡伊方町、玄関口となる付け根部分が八幡浜市です。地図上の形が特徴的なだけでなく、実際に訪れてみると興味深いモノ・コトがたくさんあるんです。

周囲を囲む海と海岸まで接近する山は、雄大な景色と豊富な恵みの源泉。一帯は全国屈指のみかんの産地であり、多様な魚介が水揚げされることでも有名です。海上交通の要衝として栄えてきた旧跡などが見られる一方で、原子力や風力発電所が立地する「エネルギーのふるさと」という一面もあります。

気が向いたら一度、週末にでも遊びに来ませんか？伊方町、八幡浜市の魅力的なスポットの中から厳選し、1泊2日のモデルコースをつくってみましたので、ぜひ参考にしてください。そして地域の魅力や人のあたたかさに触れたなら、何度でも訪れてより深く伊方・八幡浜のことを知ってください。

C O N T E N T S



02~03

1日目・伊方町

佐田岬メロディーラインをドライブ



06~07

2日目・八幡浜市

レトロな保内散策と八幡浜グルメ



04~05

宿泊

待望の再建オープン！亀ヶ池温泉を満喫



08

伊方・八幡浜観光MAP

権現山展望台

ごんげんやま



西宇和郡伊方町三机

佐田岬半島のほぼ中央に位置する権現山。その東斜面に設置された木製展望台からは、左手に三机湾と瀬戸内海、右手に宇和海、そして眼前には延々と連なる半島と風力発電の風車群を見ることが出来ます。また、権現山はタカなど猛禽類をはじめ、さまざまな鳥を見られる場所としても有名です。



《三崎の赤ウニ》

おいしいけれど漁獲量が少なく、「幻の高級ウニ」とも呼ばれる赤ウニ。実は伊方町三崎地区は、品質、漁獲量とも国内トップレベルの赤ウニの産地です。8～10月の限られた時期だけ、伝統的な素潜り漁の「海士(あまし)」が取り上げてくる赤ウニは、他地域のものより大きく、味も甘くて濃厚。東京の高級寿司店などの間でも評判が広がっています。運良く直売所で見かけたら、もう早い者勝ちかも……?



西宇和郡伊方町三崎1671
TEL 0894-54-0720
営業時間 10:00～17:00
定休日 毎週水・木曜日、第2土曜日



海鮮丼

かき揚げ丼

愛媛県漁業協同組合三崎支所直売所

みさき

三崎港のすぐそばにある漁協の直売所でお昼ごはんを調達。とれたての海の幸を使った海鮮丼やかき揚げ丼、お寿司、フライなどがお手頃な価格で購入できるとあって、観光客はもとより地元の人たちにも人気です。店内にも飲食スペースがありますが、目の前の「佐田岬はなはな」の敷地内でいただくのもおすすめ。

もちろんお食事だけでなく、アワビやサザエ、お魚の干物や刺身ブロック、ひじきやあかもくといった海藻類など、地元の特産がずらり。ぜひお立ち寄りを。

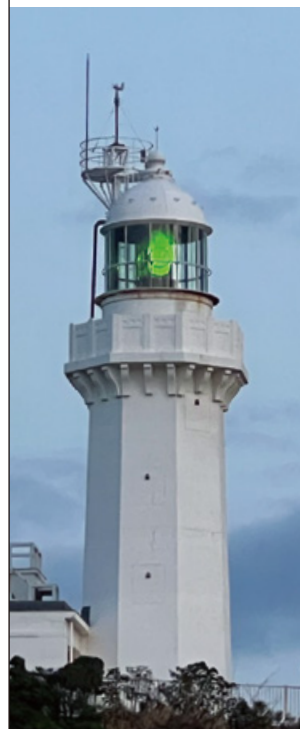
佐田岬灯台

さださき



西宇和郡伊方町正野

半島の先端に立つ佐田岬灯台。1918(大正7)年の初点灯から100年以上、豊予海峡の安全を見守り続けています。駐車場から灯台までは徒歩で約20分。途中で椿山展望台に立ち寄りましょう。青い海をバックにした白亜の灯台の眺めは壮観です。灯台からは周囲をぐるりと囲む海と、豊後水道を行き交う船、そして対岸の九州を遠望することが出来ます。時間が許すなら、日没後の数分間だけ灯台の明かりが緑色に輝く「エメラルドタイム」を観賞してみても。最高のひとときになるはず!



1日目
伊方町

佐田岬メロディーラインをドライブ



1日目は伊方町を満喫します。午前中に八幡浜市内に降り立ったら、佐田岬半島を貫く国道197号線、通称佐田岬メロディーラインを一路西へ。メロディーラインには、タイヤの音がメロディーに聞こえる区間が全部で3カ所あります。何の曲かは行ってみてのお楽しみ。

ニュース直販ショップ

伊方町に入つてすぐ、半島の付け根で午前のおやつを。農業生産法人「ニュース」の直販ショップでは、自社園地で栽培した柑橘や、それらを使用したジュース、ゼリー、スイーツなどを販売しています。



店内には旬の柑橘がならぶ



人気のオリジナルアイス(左)とスムージー



西宇和郡伊方町河内1448-1
TEL 0894-38-2165
営業時間 9:00～17:00
定休日 毎週火曜日、年末年始

伊方町のイメージキャラクター「サダンディー」(左)。渡り鳥のメッカでもある伊方町に突然舞い降りた鳥の妖精。右は子どもの「チビダンディー」



西宇和郡伊方町九町字コチワキ3-204
TEL 0894-39-1399
開館時間 9:00～17:00
休館日 年末年始(12/29～1/1)
https://www.yonden.co.jp/energy/atom/tour/ikata_visitorhouse.html

四国電力伊方発電所のPR館。展示やゲームなどを通じて、原子力だけでなく、他のさまざまなエネルギーや、伊方町周辺の地質などを学ぶことができます。工作コーナー、科学体験教室などのイベントを定期的に開催しており、地元の子どものための遊び場としても日々にご利用いただけます。館内の見学は自由。スタッフによる案内付きの見学コースも受け付けています。申し込みは伊方ビジターズハウスのホームページまで。

道の駅 伊方きらら館

伊方ビジターズハウスに隣接し、連絡通路でつながっている道の駅。地元の柑橘や、ひじき、ちりめんといった海の幸に加え、民芸品なども充実しています。駐車場の角の「伊方じゃこてん」で売っているじゃこカツ、じゃこ天も名物。ぜひご賞味あれ。1階にはサイクルオアシス3階には海・山の景色が楽しめる休憩所があります。伊方観光の拠点として活用しましょう。



サダンディーグッズも販売中



西宇和郡伊方町九町越3番耕地179-1
TEL 0894-39-0230
開館時間 9:00～17:30※年中無休
<https://www.kirakan.com/>



伊方じゃこカツ

亀ヶ池温泉の湯は、地下1、500mから湧き出るナトリウム―塩化物温泉。疲れをじつりとほぐしてくれます。

屋内には広々とした大浴場に加え、気泡風呂、高温サウナ、低温塩サウナの2種類のサウナを完備。開放的な露天風呂の隣では、樽風呂、陶器風呂も楽しめます。また、岩盤浴でくつろぐこともできます。

一度入るだけでもったいない。多様な温浴施設を楽しんでください。

入浴料金	
大人(中学生以上)	700円
65歳以上	600円
小人(3歳～小学生)	300円
岩盤浴500円 (別途入浴料が必要)	



陶器風呂



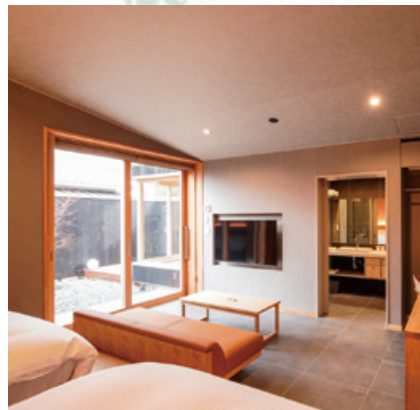
大浴場



樽風呂

温浴施設

光301



風202

これまでの簡易宿所5部屋に加え、さまざまなタイプの7部屋が新たに設置されました。6室のツインルームのうち、風201号室と光301号室は露天風呂内風呂付き。和室の光303号室は家族兼福祉風呂付きとなっており、いつでも気軽に温泉を満喫できます。(他4室はシャワー付き、簡易宿所5室は内風呂・シャワーなし)

宿泊者用のラウンジもあり、薪の暖炉とソファが暖かく迎えてくれます。

屋外の駐車場の一角にはキャンピングカーエリアがあり、最大5台まで利用が可能です。

宿泊・亀乃湯別邸



名物のしらす丼



刺身をタレにつけ、ご飯にかけていただく宇和島鯛めし風御膳

レストラン・ショップ



レストラン「Dining 海」



風の杜マルシェ

Dining 海	
営業時間	11:00～14:30 17:00～21:00

風の杜マルシェ	
営業時間	9:00～21:00

西宇和郡伊方町二見甲1289番地
TEL 0894-39-1160
営業時間 9:00～21:00
休館日 第4木曜日(祝祭日の場合は翌日)
<https://www.kamegaika.com/>

二日目は
ハル浜へ！

解放感溢れる露天風呂で
風のやさしさとお湯の温かさを感じられる
素敵なロケーションの温浴施設。



宿泊
亀ヶ池温泉

待望の再建オープン！

かめがいけ

亀ヶ池温泉を満喫

亀ヶ池温泉

施設概要再建への道

2003年に温泉が湧出、07年から営業を開始した亀ヶ池温泉は、気軽に訪れ疲れを癒やせる温泉施設として地元の人たちや観光客などから愛され、毎年10万人以上が利用していました。



再建工事の様子

しかし21年8月19日未明、落雷によって火災が発生し、温泉施設は被災を免れたものの、本館は全焼。予期せぬ理由で営業を停止せざるを得なくなりました。

再建できるか不安に思う声もありましたが、ふれあいの場として残してほしいという住民らの強い希望もあり、伊方町は営業再開を目指すことを決定。温泉の仮営業を続けながら22年に再建工事に着手しました。

従来以上に施設を充実させた亀ヶ池温泉は、23年11月に再建工事を完了、12月に

副支配人 木原 誠治さん 《(株)佐田岬マネジメント》



多くの皆さまのご協力のおかげで、新たな亀ヶ池温泉をオープンすることができました。営業再開をお待ちいただいていた方々も多く、喜びもひとしおです。

火災のあった日は、連絡を受けて駆けつけたら建物が燃え上がっていたのを思い出します。

今後に不安をかかえつつ、まずは宿泊の予約をいただいていた方々にご連絡する必要があるました。予約台帳が燃えてしまい連絡先がわからない中、ホームページやフェイスブック等で告知し、なんとか状況をお伝えすることができました。

再建に向けては、町民の



完成した新しい亀ヶ池温泉

方々の声はもちろん、全国からもクラウドファンディングなどへのご協力を伊方町へお寄せいただきました。また、浴室と機械室、宿泊棟が残ったため仮営業ができたのは不幸中の幸いでした。

新しい亀ヶ池温泉では、内湯付きのお部屋など宿泊棟に7部屋を新設し、ご好評をいただいています。レストランや売店、休憩スペースなども充実させています。

佐田岬には観光スポットやおいしいものがいろいろございます。それらを体験した後、こちらのお風呂で疲れを癒やしていただければと思います。

生まれ変わった亀ヶ池温泉へ、ぜひお越しください。



市民のソウルフード「八幡浜ちゃんぽん」のPRキャラクター「はまぽん」が、チャームポイントは八の字の赤いひげ。ちゃんぽんはアゴラマルシェをはじめ約30店舗で食べられるほか、カップ麺なども人気です。

道の駅・みなとオアシス 八幡浜みなと

八幡浜港にほど近い「八幡浜みなと」とは、ビーや市場・ビーや食堂のほか、産直・物販・飲食施設「アゴラマルシェ」や地域の情報発信施設「みなと交流館」などで構成。八幡浜を満喫できる人気スポットです。

八幡浜市沖新田1581-23
TEL 0894-21-3710
<https://www.minatto.net/>
※記載以外の施設の営業時間、定休日は公式サイトからご確認ください。

アゴラマルシェでお土産選び

食後にはアゴラマルシェの産直物販エリアでショッピング。みかんをはじめとした旬の果物野菜、さまざまな地域の特産品に移りします。常時100種類以上が並ぶかんきつジュースコーナーは圧巻です。

最近ラインアップに加わったおすすめ商品が「じゃこ天ソーセージ」。日本で初めて魚肉ソーセージを商品化した「西南開発」と四国最大の練り物メーカー「八水蒲鉾」が共同開発しました。愛媛県産の本物のじゃこ天を練り込んでいて旨味たっぷり。そのままいただくのももちろん、スープなどの具材にも最適です。

アゴラマルシェ
TEL 0894-35-6565
産直・物販エリアの営業時間 8:30～18:00

ビーや食堂で海鮮バーベキュー

こちらは一年を通じて利用可能。八幡浜みなと内の「ビーや食堂」では、海鮮丼などのメニューのほか、手ぶらで新鮮な海鮮バーベキューを体験できます。隣接する「ビーや市場」には、とれたての旬の魚介が並び、種類も豊富。白甘鯛などの高級魚やうちわ海老といった、他の地域ではなかなか見ることもない新鮮な海鮮も格安で手に入ります。好きなものを選んで、そのまま炭火で焼いて食べるとなれば、その美味しさはさらに格別です。

ビーや市場
TEL 0894-21-4775
営業時間 8:00～16:00
営業日 不定休

ビーや食堂
TEL 0894-21-1537
営業時間 7:00～14:00
定休日 1月1～4日
※海鮮バーベキューは夜の利用も可能。要予約

パン・メゾンの塩パン

八幡浜市役所隣の「パン・メゾン」は、焼きたてのパンが並び人気のベーカリー。特に「塩パン」発祥の店として有名で、市内外から客足が途絶えません。自慢の塩パンは、外はカリッと、中はふんわりした食感。そしてバター風味とほのかな塩味がシンプルながらやみつきになります。東京にも2店舗を出店するなど全国に広がる塩パンの「元祖」の味、こちらで味わってみてください。

八幡浜市北浜1-8-15
TEL 0894-27-0348
営業時間 7:00～18:30
定休日 火曜日

伊方・八幡浜へ、来なはいや!

いかがでしたか？伊方・八幡浜には、ほかに魅力的なスポットや名物がたくさんあります。少しでも気になったなら、今度の週末はぜひ伊方・八幡浜へ、来なはいや!

保内散策

八幡浜市内で伊方町に隣接する保内町は、明治期に海運・鉱山、紡績などで大きく栄えました。川之石地区には往時の繁栄を伝える建築物が多く残り、「ほないまちなみミュージアム」として保存公開されています。ぶらりと散策しながら、かつてのにぎわいに思いを馳せてみましょう。

【旧白石和太郎洋館】

紡績や鉱山で財を成した白石和太郎が建てた洋館。戦後には「川之石ドレスメーカー女学院」として使用されました。玄関の天井に描かれた世界地図など、かつての栄華を感じる建物内外の装飾が特徴的です。

玄関天井

もっさんろーど

【もっさんろーどと矢羽根積みの青石護岸】

宮内川沿いにはウッドデッキの遊歩道「もっさんろーど」が設けられ、さわやかな風を感じながら町並みを堪能できます。川の対岸には、この地域で採れる青石(緑色片岩)を斜めに組み合わせて積み上げた「矢羽根積み」の護岸が見られます。一方向に割れる青石の特性をうまく生かした積み方で、矢羽根模様が川面によく映えます。

矢羽根積みの青石護岸。2016年には土木学会選奨土木遺産の認定を受けた

【旧東洋紡赤レンガ倉庫と美名瀬橋】

東洋紡績川之石工場では、最盛期の昭和初め頃には2千人以上の工員が働いていたそうです。1960年に閉鎖されましたが、赤レンガの当時の姿のまま現在は倉庫として使用されています。よく見ると外壁には「東洋紡績川之石工場」の文字が残っています。すぐ脇の美名瀬橋は、江戸時代から数度の架け替えを経て、1933年に現在のコンクリート造りの姿に。その後、98年に保存改修が行われました。優美な橋越しの赤レンガ倉庫はおすすめのフォトスポットになっています。

赤レンガ倉庫

美名瀬橋

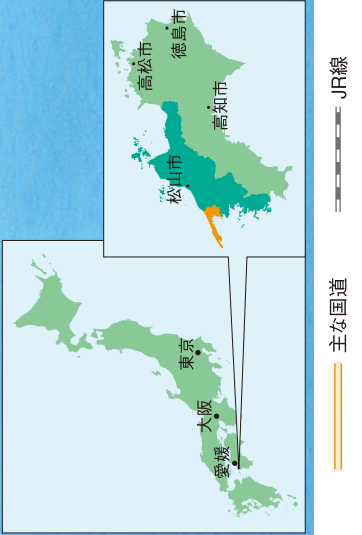
夏限定 平家谷そうめん流し

春〜夏限定になりますが、昼食に流しそうめんはいかがでしょう。川之石地区から車で20分ほど上った平家谷は、原生林の間を溪流が流れる美しい場所。夏場でも涼しい風の中で心地よく過ごすことができます。そんな環境で食べるそうめん流しは、箸を止めるのを忘れてしまうおいしさです。このほかにも、釣ってすぐ焼いて食べられるニジマス釣りや、溪流遊びなども楽しむことができます。家族連れなどにとっても人気のスポットです。運営にあたっている地元の高人クラブの皆さんが、いつも温かい笑顔で迎えてくれます。

八幡浜市保内町宮内8-264-2
TEL 0894-36-2414(営業期間中のみ)
営業期間 ゴールデンウィーク期間中毎日営業
5～6月・土日営業
7～8月・毎日営業
営業時間 9:30～16:30
料金 <そうめん流し>
大人(中学生以上) 600円
小学生 300円
幼児 100円
<https://www.city.yawatahama.ehime.jp/doc/2022060100030/>

2日目は保内散策と八幡浜グルメ

2日目は佐田岬半島を東へ戻り、付け根部分の八幡浜市を観光します。八幡浜は四国の西の玄関口として栄えてきた町で、保内町にはレトロな魅力が点在。また、海の間近まで山が迫る地形を生かし、全国屈指の柑橘の産地かつ四国有数の漁港という側面も持ちます。



主要アクセス

